

令和8年度 社会科 第3学年 指導・評価計画

学期	題材名	評価の観点			評価規準	主な評価方法	主な評価基準 (おおむね満足できる B)
		知識技能	思考判断表現	態度			
1	<p>◎ 歴史的分野</p> <p>第6部 近代(後半) 二度の世界大戦と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦 ・大戦後の欧米諸国 ・アジアの民族自決と国際協調 ・護憲運動と政党内閣の成立 ・社会運動と普通選挙の実現 ・都市化と大衆文化 ・世界恐慌と日本 ・ファシズムの胎動 ・日中戦争 ・第二次世界大戦 ・アジア・太平洋戦争 ・戦時下の生活 ・ポツダム宣言と日本の敗戦 <p>第7部 現代 現在に続く日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後改革 ・冷戦とその影響 ・対日講和と安保条約 ・経済成長による日本の変化 ・グローバル化の中で ・これからの日本 <p>◎ 公民的分野</p> <p>第1章 私たちの暮らしと現代社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特徴と課題 ・伝統と文化 ・誰もが大切にできるルール作り 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの項目について基礎的・基本的な知識を身に付け、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・それぞれの項目について多面的・多角的に考察している。 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようしている。 ・それぞれの項目について基礎的・基本的な知識を身に付け、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・課題レポート ・授業での発表 ・提出物の取り組み状況 ・定期考査 ・ワークシート ・課題レポート ・授業での発表 ・提出物の取り組み状況 ・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・課題レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会における様々な場面で活用できるよう、身に付けた知識を関連付けたり組み合わせたりすることができる。また、情報を収集し、読み取り、まとめることで課題の解決に向かうことができる。 ・自分の意見や考え方を説明したり、それらをもとに議論したりすることができる。 ・グループワーク等に主体的に参加することができる。また、課題意識をもち、「社会」について自分なりにアプローチすることができる。 ・社会における様々な場面で活用できるよう、身に付けた知識を関連付けたり組み合わせたりすることができる。また、情報を収集し、読み取り、まとめることで課題の解決に向かうことができる。
2	<p>第2章 個人を尊重する日本国憲法</p> <p>第3章 私たちの暮らしと民主政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法と国民主権 ・憲法が保障する基本的人権 ・差別をしない ・自由と平等 ・「働き方」を考える ・人間らしい生活の保障 ・新しい人権 ・平和主義 ・民主政治とは ・国民の代表を選ぶ選挙 ・三権分立(立法・司法・行政) ・マスメディアの役割 ・地方自治～まちづくりを考える <p>第4部 私たちと経済活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活と経済活動 ・企業の生産のしくみと労働 ・株式会社ってなんだろう？ ・市場のしくみとはたらき ・金融のしくみと財政の役割 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの項目について多面的・多角的に考察している。 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようしている。 ・それぞれの項目について基礎的・基本的な知識を身に付け、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・課題レポート ・小テスト ・授業での発表 ・グループワーク ・提出物の内容 ・小テスト ・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・課題レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や考え方を説明したり、それらをもとに議論したりすることができる。 ・グループワーク等に主体的に参加することができる。また、課題意識をもち、「社会」について自分なりにアプローチすることができる。 ・社会における様々な場面で活用できるよう、身に付けた知識を関連付けたり組み合わせたりすることができる。また、情報を収集し、読み取り、まとめることで課題の解決に向かうことができる。
3	<p>第5部 安心して豊かに暮らせる社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしを支える社会保障 ・これからの日本経済の課題 ・グローバル化する経済 <p>第6部 国際社会に生きる私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の平和を目指して ・国際社会が抱える課題と私たち <p>終章 私たちが未来の社会を築く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を目指す 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの項目について多面的・多角的に考察している。 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題レポート ・小テスト ・授業での発表 ・グループワーク ・提出物の内容 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や考え方を説明したり、それらをもとに議論したりすることができる。 ・グループワーク等に主体的に参加することができる。また、課題意識をもち、「社会」について自分なりにアプローチすることができる。